

《課題名》

人工肛門症例の検討

《対象者》

当院で 2011 年 1 月以降に人工肛門造設手術を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「人工肛門症例の検討」という研究を行います。この研究は、当院で 2011 年 1 月以降に人工肛門造設手術を受けた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示などによるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。また希望されれば、計画書等研究に関連する資料を個人情報保護と研究に支障がない範囲に限り閲覧することができます。

(1) 研究の概要について

研究課題名： 人工肛門症例の検討

研究期間： 承認日（2017 年 5 月 23 日）～2020 年 12 月 31 日

実施責任者： 滋賀医科大学 外科学講座 教授 谷 眞至

(2) 研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

人工肛門は腸管の吻合が困難な場合や縫合不全が危惧される場合などにおいて、腸管の安静、縫合不全の予防などを目的に増設されます。結腸や小腸などの部位、人工肛門造設の原疾患や造設方法により人工肛門から排液、排便状況などが異なりますが、どのような要因が排便状況や合併症などに関連しているか一定の見解が得られていないのが現状です。今回、人工肛門造設後の臨床経過を評価し、排便状況など臨床的因子について検討します。

(3) 研究の方法について

《研究の方法》

後ろ向き観察研究。当院で 2011 年 1 月以降に人工肛門を造設された方の臨床経過、検査値を評価します。また、電子カルテより患者さんの年齢、性別、併存症、人工肛門の部位や排液量、造設方法、合併症などの情報を利用します。

(4) 予測される結果（利益・不利益）について

参加頂いた場合の利益・不利益はありません。

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。また、個人を特定しない形で大腸手術関連の研究に二次利用することがあります。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(7) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 外科学講座 三宅 亨

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2238

メールアドレス： hqsurge1@belle.shiga-med.ac.jp